



文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 7月 5日

【文責】校長 蔦川 誠

オンライン機器と上手に付き合うために

7月3日(月)、情報モラル教室を実施しました。講師は、みらいクリエイド代表の森淑乃(もりよしの)先生でした。森先生は本校の卒業生でもあります。一昨年も情報モラル教室で講師をしていただきました。

演題は「オンライン機器との上手な付き合い方」でした。身近な例を挙げながら、オンライン機器の現在の状況、スマホ・ネットの光と闇、体への影響などについて、映像を交えながら分かりやすく講演していただきました。



講演の中で大事だと思った内容を以下に載せます。

○現在の状況

- ・現在使っているオンライン機器(アプリも含む)は、使っている人の「命」「心」「体」「未来」に大きな影響を与えている。
- ・動画をアップして炎上してしまったことによって(迷惑動画)、ネット上に実名があげられたり、被害を受けた会社から多額の損害賠償金(約6700万円)が請求されたりしたケースがあった。同様のケースは他にもあり。(加害者は高校生や中学生の場合も)
- ・迷惑動画によってネット上に実名があげられると、将来働きたい会社で働けないケース(入社を断られる)もあるかもしれない。
- ・アップした動画から、個人情報盗み取られたケースが多数あった。

○スマホ・ネット(ゲーム)の光と闇

- (光) ・創造力や感受性が育まれる。 ・短時間で大量の動画を送信できる。
- (闇) ・情報漏洩 ・詐欺被害 ・ウイルス感染による悪用 ・視力低下
- ・「ゲーム障害」⇒過度の依存による日常生活に支障をきたす病気

○体への影響

- ・睡眠障害 ・ゲーム脳 ・ゲームを取り上げられたことで傷害事件や殺人事件も

◎教訓 ・オンライン機器を使う上で大事なことは

- ①時間⇒使いすぎない 「自分で止めることができるか」がポイント
 - ②マナー⇒迷惑をかけない「誰も傷つけない、自分も傷つかない」がポイント
- ・「段階的使用」がとても大事。
 - 危険性を学んでから使うことが大切。ネット上のミスは全て「大失敗」となる。

まもなく夏休みとなります。夏休み中は自由な時間も増え、オンライン機器を使用する時間も増えると思います。使い方や時間について普段以上に意識する必要があります。

講師の森先生は、夏休み中に御家庭でオンライン機器の使い方について話題にしたり、子どもがオンライン機器で何をしているのか等について関心をもったりすることがとても大切である、とお話されておりました。御家庭でも、オンライン機器について使い方やルール等について考えていただくようお願いします。

本日の講演は、オンライン機器と上手に付き合う上でとても参考になりました。